

えぐち徹活動報告！

情報発信第9号 2002年春！

〒820-0001 飯塚市鯉田 2525-28

TEL 0948-24-5932 FAX 0948-24-6189



発行責任者 江口徹

2市8町合併への思いを込めて合併しよう！

どうする合併？決断は今年前半！！

先の活動報告でも、合併について取り上げました。その際には、2市8町以外の選択肢も考慮すべきだと述べました。そして、先の議会一般質問でも合併について市長の見解を求めましたので、その議論の紹介をしながら、合併について考えてみたいと思います。

～議会一般質問要旨～

江口：2市8町以外の選択肢について検討はなされているか？

市側：2市8町で合意したということで理解してほしい。(言えない？していない？)

江口：合併特例法の失効まで、3年しかない。法定協議会ができて2年はかかると言われる。関係団体が2市8町で10もあるが3年で本当に大丈夫か？

市側：厳しい、協議会を早期に立ち上げたい。

江口：もっとしっかり現状把握すべきだ。2月25日の会議で2市8町の首長すべてが協議会設立については合意したのか？

市側：合併の枠組みは6月がタイムリミットだ、協議会設立までは合意していないが、積極的に合併問題に取り組んでいくということで2市8町が合意した。

江口：2市8町がベストか決断しなければならない。そのときが来ているのではないのか。

市側：基本的に市長も言われたように2市8町で合併論議を進めていきたいと考える。

江口：2市8町でどんなまちづくりをするのか示されていない。まちづくりの姿が示されずに財政の問題から合併を考えているの

が一番の問題だ。運命共同体、歴史的背景といわれるが、2市8町でどのようなまちづくりをしたいのか？それが一番大事ではないか？

市側：指針を示すのが望ましいが、協議会の合意ができていない現在では示せない。飯塚市だけが先行すべきではない。方向(枠組み)がでた後で、ビジョンを作って示すべきだと考えている。

江口：まちづくりの姿が見えない？協議会などでビジョンが見えたときにこのまちづくりは飯塚の考えているまちづくりと違うと思って別の枠組みを探しても、間に合わないのではないのか。市長の思いでいいからビジョンを示してほしい。

市側：飯塚がかってに新市計画作るわけには行かない。お互い理解した中で次の段階で進まない問題がこじれるのではないのか。時間はないのでできるだけ早期に任意協議会を立ち上げて議論し、市民、議会に示し、理解を求めなければならない。そのときにビジョンを議論できると考える。

江口：まちづくりの姿を見せてほしい、2市8町が合併すると福岡市より大きな面積となるが、地域の声拾えるのか疑問との声もある。2市8町合併の時に新産業育成ができなくなるのではないのか。未来像が見えなかったら人は安心して住めない。現在の不況、個人消費の冷え込みも未来像が見えないからではないのか。市の未来像を示さないと市民に「合併しよう！」とは言ってもられないのではないのか。(→右ページへ)

市長：2月25日の会議は方向性を見出すことに留意した。5月の首長会で合併の意思を再度確認し、2市8町合併で行きたい。相手のあることだから、今の段階ではビジョンは言わないが、新市計画策定の間、6ヶ月の間に示したい。

江口：詳しくは新市計画に譲るとしても、大きな枠でのまちづくりのビジョン、夢は語っていただかないと、夢を見せるのはトップ(市長)の仕事だ。

市長：夢を見せるのはトップの仕事だと思うが、合併を呼びかけている私の立場では現在ではいえない。6ヶ月間の審議の際に煮詰めていきたい。

江口：5月の首長会の際にお互いに夢を持ち寄ろうとしていただきたい。

市長：5月にはしかと夢を語り2市8町合併の合意を得たいと考えている。しかし、議会も、住民への働きかけなどしっかり考えるべきだ。

江口：行政だけの責任ではない、議会もだというのは、そのとおりだ。

(文責：江口)

☆私の考え☆

どうやら市側と私とは合併の進め方に大きな違いがあるようです。

【私の考え】

まちづくりの方向決定→実現のための枠組みの合意→合併への細かい協議

【市の考え】

合併の枠組み決定→まちづくりの方向決定→合併への細かい協議

合併することが目的ではありません。市民が幸せに暮らすことができる、自分たちで自分たちのまちづくりができる「まち」づくりが目的であり、合併はまちづくりの手段にすぎないのです。「どんなまちを作りたいか」「自分たちでまちづくりができるか」そのために必要な枠組みを考えるべきではないでしょうか。

1. 嘉飯山2市8町の合併
2. 合併しない
3. 2市8町より小さな合併
4. 直方を含めた合併

私は、活動報告8号で上の4つの選択肢の検討をすべきだと書きました。

誤解を恐れずに書くと、私は、飯塚のために一番いいのは、直方を含めた合併、次に2市8町より小さな合併だと考えています。

しかし、嘉飯山のためにどうするのがいいのか、そして、合併特例法の期限内に何とか合併を実現するためには、そして、合併した後にもきちんとしたまちづくりができるかどうかも充分検討すべきであり、そう考えると選択肢はおのずと限られると思っています。

2市8町が歴史的背景を持ち、ある種、運命共同体であると言うことも事実でしょうが、だからこそ、お互い生き残れるように、大きくなりすぎて地域のニーズを拾えないまちづくりのできない冷たい自治体にならないようしなければなりません。

いずれにしても、まだまだ、議論と情報が足りません。もっともっと市民の皆様と一緒に議論しなければと思います。そのためにも徹底した情報公開が市には求められます。

市長は、「議員にも責任がある」と言われました。また、職員にも合併の検討を強く指示しているとのこと。

地域のことを考えることは、自分達の未来を考えることで、すごく大切なことです。

先の活動報告でも書きましたが、依存から自立へ向けて、財政問題だけでなく、まちづくりを考えた複数の選択肢が市民に示され、市民も、市役所の職員、議員、市長も一緒に議論をする。飯塚市もそうした議論を市全体で行うべきでそういう時期が来たと考えています。

ぜひ、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

議会のホームページに議事録が追加になりました。一・二年度以降の本会議の記録が、発言者やキーワードでの検索が可能になりました。私のホームページでも、一般質問の記録などを掲載しています。こちらでもご利用下さい。また図書館では、紙上の会議録も読めます。

～素敵な税金の使い道～

スタンフォード大学CSLIと飯塚市、せき損センター、地元企業、研究機関の共同研究の成果が実りました。

その共同研究のテーマはチャレンジド（障害者）へのサポート。

現実のものとなったのは、ソニーのプレイステーション2（PS2）のコントローラーです。

家庭用ゲーム機と思われているPS2はインターネット端末としても動きます。チャレンジドの社会参加のツールとしても動くのです。

バリアフリーといわれますが、実際には、あまり進んでいないのが現状です。国際車いすテニス大会を地域で行う飯塚市も例外ではなく、車いすの方が外出しようにも、トイレをはじめ様々な障害があるのです。

そんな障害の解決にパソコン・ITは貢献できます。メールやホームページを通して、情報収集ができ、社会との接点が生まれます。ゲームを通じて使い方に慣れ、そして社会参加を果たす。さらには、自宅で仕事ができることもあるでしょう。

「身体に障害あっても仕事には障害じゃない」
「パソコンとネット操ればプロの仕事」

3月15日付け読売新聞の夕刊では、2面にわたって「チャレンジドと仕事」について取り上げられました。

今回の共同研究は、まさにこの場面で貢献するものであると信じています。

まだ、製品としては、世には出ていません。早く、全国の福祉施設で、そしてチャレンジドの方々の自宅で、飯塚から生まれた製品が、お役に立つ日が来てほしいものです。そのため、飯塚市はもっと前向きに取り組んでよいのではないのでしょうか。

私たちの納めた税金の一部で、本当に喜んでいただけることができました。こんな素敵な税金の使い方ができたことを喜ぶとともに、もっとチャレンジドにとって優しいまちに飯塚が変わり続けることを望みます。

(4月15日)

★3月議会★

今回の議会では、「市長の市政運営について」一般質問をしました。私の質問内容等は次の通りです。

★1期4年間を振り返って★

公約に掲げたこと、自身での評価などについてお尋ねしました。

★広域行政について★

市長も公約としてあげられていた広域行政の促進ですが、「施設の広域使用を検討、ゴミ処理については検討したが失敗、形としては無いが、取り組みはあった。」と4年間を振り返られました。合併はまちづくりの一環のため行う広域行政の一つです。「合併だけではなく様々な形の広域連携を進めるべきだ」と提言しました。(合併については裏面をどうぞ)

★今後の市政運営について★

「少子高齢化など変化大きい。英知を豊かに活気あふれる学園都市、安心とゆとりにもちた人に優しいまちづくりに努める。三次行革を行い、効率的でわかりやすい行政を目指す。市民と協働し、お互い知恵を出し合い、議会とのコンセンサスを図りながら、山積する課題の解決に努めることが私に課せられた努めだ。」と市長は言われました。

私は、市民参画を実現するためにも、市長に市民との対話の機会をもっともっていただき、市民の声を拾う仕組みを作ってほしいと要望しました。

他の一般質問をされた方々と質問事項(敬称略)

原 隆志	吉原町再開発・オートレース
道祖 満	行財政改革・児童クラブ
瀬戸 元	行財政改革・市町村合併
松隈一輝	久保白ダムの水質 八木山の環境保全・生活雑排水
高松 昇	市町村合併
田中裕二	障害者福祉における支援費制度 石炭六法失効の影響
北川 充	農業行政
福澤寛治	清掃行政・行財政改革
人見隆文	文化芸術振興・行財政改革

ぜひ！議会へおいで下さい。傍聴は誰でも（市民以外も）OKで出入り自由（委員会は部屋の都合で10名まで）
なお6月議会は6月21日開会予定。★詳しくは、議会事務局2215500内線402まで

13年度政務調査費精算報告

この活動報告の作成にも使用させていただいている政務調査費。13年度から制度化されて議員1人当たり年間60万円（月額5万円）をいただいています。

【収入の部】 600,000円
【支出の部】 1,195,265円

《支出内訳》

研究研修費	574,222円
調査旅費	0円
資料作成費	346,425円
資料購入費	118,473円
広報費	62,858円
広聴費	52,503円
人件費	0円
事務所費	0円
その他の経費	40,784円

《主な用途》
清溪セミナー他参加費用、講演会開催経費、事務機器等購入費、書籍等購入費、情報公開手数料等、活動報告作成費用、電話代、コピー代、消耗品費等

市民の方から高額ではないかと批判を受けましたが、私は、頂いていました政務調査費については右のように使わせていただきました。

政務調査費の使い道については、それぞれの会派・議員が収支・実績報告書を作成し、領収書等を添付して4月30日までに議長に提出する事、議長は提出された報告書を期限後30日以内に公表する事が義務づけられており、誰でも見ることができます。

閲覧は、議会事務局でどうぞ。
(私の分はホームページにも記載しています。)

ウィルスに注意・・・

私の使っているパソコンはマック。ウィンドウズじゃないからとちょっと人ごとのようにウィルス騒ぎを見ていた私のパソコンに魔の手が！！1月中旬、ウィルスにやられメールのデータが全く読めなくなりました。

ドコモの携帯から「久しぶりに飯塚へ帰ってきたら吉原町が寂しくなっていた！」とメールを出してくださった30代の方をはじめ皆様から頂いたメールが、読めなかったり、お返事を出せなかったりしています。この場を借りてお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

ホント、バックアップしてなかった自分が情けない・・・

サポーター募集！
年に4回発行している活動報告。もう9号となりました。応援して頂ける方々のご協力を得ながら、お配りしています。もっと多くの方に読んでいただくため、「近所の20軒だったら配ってあげるよ！」「私の店に置いてあげる」という方、ぜひご連絡ください。

ホームページ更新しています！！(毎月更新！)

皆様にお約束していたホームページでの情報提供。私の活動報告を中心に、委員会記録など、紙面では提供が難しい様々な情報を、下のアドレスで提供しています。

皆様のご意見・ご質問をお受けする場所、思いを伝える場所が出来ればいいなと思って掲示板もご用意しました。どうぞお気軽にご利用下さい。

また、メール・お葉書・ファックスでのご意見ご質問等もお受けいたしています。メールを頂いた方には月数回程度、議会報告やイベント案内のメールもお送りしていますので、「メール版活動報告希望」だけのメールでも結構ですので、お気軽にどうぞ。

ホームページ <http://www.geocities.co.jp/WallStreet-Bull/4535/index.html>

メールアドレス kawasaki1@mx7.tiki.ne.jp